

開 議

○佐々木謙二議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、11番、大沼久議員の1名であります。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

ここで、本日の会議の運営について、議会運営委員会の報告を求めます。

高橋孝夫議会運営委員長。

(高橋孝夫議会運営委員長登壇)

○高橋孝夫議会運営委員長 おはようございます。

本日の本会議運営について、先ほど議会運営委員会を開催し、協議いたしましたので、その結果をご報告いたします。

初めに、9月3日の本会議において各委員会に付託をされました議案の審査結果を決算特別委員長、総務・文教常任委員長、産業・建設常任委員長、予算特別委員長から報告を受け、それぞれ質疑、討論、表決を行います。

なお、認第1号、議案第70号、議案第71号、議案第74号にそれぞれ反対1名の討論の通告がなされております。

次に、本日追加提案されます議案について申し上げます。

追加議案は、議事日程第4号のとおり、人事案件4件、議会案6件であります。

追加議案の審議につきましては、付託議案の表決終了後に議長から委員会付託を省略し、全員による審議を諮っていただき、決定の後、それぞれ提案説明を受け、質疑、討論、表決を行います。

なお、人事案件については、申し合わせの通り提案説明後、質疑と討論を省略し、直ちに表決することといたします。

以上、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます、報告といたします。

○佐々木謙二議長 お諮りいたします。本日の会議は、ただいまの議会運営委員長報告のとおり、配付しております議事日程第4号をもって進めることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

それでは、直ちに本日の会議に入ります。

日程第1 認第1号 平成18年度 長井市歳入歳出決算認定について外 12件

○佐々木謙二議長 日程第1、認第1号 平成18年度長井市歳入歳出決算認定についてから、日程第13、議案第74号 平成19年度長井市介護保険特別会計補正予算第1号までの13件を一括議題といたします。

決算特別委員会審査報告

○佐々木謙二議長 初めに、決算特別委員会の審査の報告を求めます。

町田義昭委員長。

(町田義昭決算特別委員長登壇)

○町田義昭決算特別委員長 おはようございます。

今定例会において決算特別委員会に付託になりました認第1号 平成18年度長井市歳入歳出決算認定について並びに認第2号 平成18年度

長井市水道事業会計決算認定についての2件について審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

本委員会は、会議日程に従い、去る9月3日の本会議終了後に正副委員長を選出し、9月13日に審査が行われたところであります。

審査に当たっては、各会計決算の概要について会計管理者を初め担当課長から説明を受けた後、2名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査が行われたところであります。

その経過につきましては、議長及び議会選出監査委員を除く全員で構成する委員会審査でありますので、ここで再び審査の状況、経過などについて申し上げることを省略させていただき、後日会議録によりご承知おきくださいますようお願い申し上げます、審査の結果のみご報告申し上げます。

認第1号 平成18年度長井市歳入歳出決算認定につきましては、賛成多数で認定すべきものと決定いたしました。

次に、認第2号 平成18年度長井市水道事業会計決算認定につきましては、全員一致で認定すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程において委員各位から出されました質疑、意見等について十分意を用いられ、事務の執行に当たられるよう希望を申し上げます、決算特別委員会の審査の報告を終わります。

○佐々木謙二議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○佐々木謙二議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第1、認第1号 平成18年度長井市歳入歳出決算認定についての1件について、討論の通告がありますので、発言を許可し

ます。

議席番号10番、高橋孝夫議員。

(10番高橋孝夫議員登壇)

○10番 高橋孝夫議員 私は、認第1号 平成18年度長井市歳入歳出決算認定について反対の立場で討論を行います。

私は、このたびの一般質問でも申し上げましたが、平成18年度の予算編成と執行には大きな幾つかの問題があると考えています。

特に平成19年度を財政危機脱出元年と位置づけなければならない大きな要因の一つは、この平成18年度の予算編成と執行にあったと言わなければなりません。

特徴的に申し上げれば、1つは、当初予算編成の段階で実態にそぐわない不完全な内容での試算に基づく過大な歳入見積もりをそのまま計上してしまったこと。

2つは、その事実が課税段階で明らかになったにもかかわらず、それへの対応は結果的には年度末までなされなかったこと。

3つは、結果として当初計画をされていた諸建設事業などが財源の検証もないままに実施されてきたこと。

4つは、多額の歳入不足がわかっていながら昨年末には新たな事業であるまちづくりファンドなどに新たな支出までなされていること。

5つは、昨年8月段階で議会にも報告をされていたこのような多額の歳入欠陥を見過ごし、対処を求めてこなかったことにあると思います。

そしてその結果は、1つは、決算で赤字を出さないために、ことしに入ってから極端な締めつけを行わざるを得なかったこと。

2つは、多額の歳入欠陥を埋めるために、これまで大変な中で積み立ててきた財政調整基金をほぼ全額取り崩さなければ赤字を解消できない事態に陥ったこと。

3つは、平成19年度予算編成では18年度の決

+

算剰余金を見込むことができない事態となり、結果として7つの特定目的基金からの繰り入れ3億4,900万円で歳入を確保せざるを得なかったこと。

4つは、またぞろ各種補助金や交付金の削減、市長を初めとする特別職の報酬カットや職員の手当カットなどを次々に展開しなければならなくなっていること。

そして5つは、財政運営で市民に多くの心配と不安や失望感を抱かせ続けていることなど多くの混乱を引き起こしてきたものと思います。

現在も続いているこの混乱は、まさに平成18年度における予算編成とその執行が引き金を引いたものと言わざるを得ないと考えます。

そして特に私は、昨年8月の時点で多額の歳入欠陥が報告されていたにもかかわらず、そのことに対する対応が当局も議会も決定的におくれをとったことは残念で仕方がありませんし、悔やんでも悔やみ切れないばかりか、議会の一員として一体何をしてきたのだろうという情けない気持ちと市民に対して申しわけない気持ちでいっぱいです。

私は、このような事態を生んだ平成18年度歳入歳出決算を認定するというにはならないと考えます。不明を恥じ、反省し、教訓とするのであれば、平成18年度長井市歳入歳出決算は認めてはいけないものと思います。

昨年3月定例会最終日の平成18年度長井市一般会計予算に対する藤原民夫議員の反対討論の最後では、「これまでの数年にわたる長井市の財政運営の中で教訓として築いてきたのは、やみくもに見える投資的経費をふやし、事業のばらまきを行えば、そのツケは必ず市民生活に大きなツケとして残り、市政運営の大きな阻害要因になるということであります」と結ばれています。私は、この指摘がまさに的中してしまっただと感じます。

多くの混乱を引き起こし、市民への不安をま

た与えなければならなかった平成18年度の予算編成や執行を反省し、本当に教訓とするのであれば到底認定することはできないものであり、認定には反対するものであります。

以上、認第1号に対する反対意見といたします。

○佐々木謙二議長 通告による討論が終わりました。

これより採決いたします。

認第1号の1件について、決算特別委員長の報告は、認定であります。

決算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○佐々木謙二議長 起立多数であります。よって、認第1号は、決算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第2、認第2号 平成18年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

認第2号の1件について、決算特別委員長の報告は、認定であります。

決算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○佐々木謙二議長 起立全員であります。よって、認第2号は、決算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

総務・文教常任委員会審査報告

○佐々木謙二議長 次に、総務・文教常任委員会の審査の報告を求めます。

渋谷佐輔委員長。

(渋谷佐輔総務・文教常任委員長登壇)